第1回「次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業」

中間評価検討会

議事要旨

- 1. 日 時 平成28年11月1日(火) 15:00~17:10
- 2. 場 所 経済産業省別館1階120共用会議室
- 3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

浅沼 徳子 東海大学工学部原子力工学科 准教授

杉山 一弥 一般社団法人原子力産業協会 事務局長

関 哲朗 文教大学情報学部情報社会学科 教授

出口 朗 原子力発電環境整備機構 技術部長

※杤山 修 公益財団法人原子力安全研究協会 技術顧問

(研究開発実施者)

福井 寿樹 株式会社 [H]

鬼木 俊郎 株式会社 [H]

牧 隆 日本原燃株式会社

駒嶺 哲 日本原燃株式会社

捧 賢一 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

塚田 毅志 一般財団法人電力中央研究所

石森 有 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

長濱 洋次 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

佐々木紀樹 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福田 拓司 原子燃料工業株式会社

小口 一成 原子燃料工業株式会社

青木 豊和 原子燃料工業株式会社

(事務局)

資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課 企画官 橋場 芳文 課長補佐 高野 龍雄

係員 分部 亮 行政事務研修員 宮内 厚志

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

技術評価専門職 小木 惠介

4. 配布資料

資料 1 中間評価検討会 委員名簿

資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について

資料3 経済産業省における研究開発評価について

資料 4 評価方法(案)

資料5-1 ガラス固化技術の基盤整備 概要

資料5-2 低レベル放射性廃棄物の除染方法の検討 概要

資料6-1 ガラス固化技術の基盤整備 評価用資料

資料6-2 低レベル放射性廃棄物の除染方法の検討 評価用資料

資料7 技術評価結果報告書の構成(案)

資料8-1 評価コメント票(ガラス固化技術の基盤整備)

資料8-2 評価コメント票(低レベル放射性廃棄物の除染方法の検討)

質問票

参考資料 1 経済産業省技術評価指針

参考資料 2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準

参考資料3 次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業 事前評価報告書

5. 議事概要

(1)座長選出

事務局からの提案により、杤山委員が本検討会の座長に就任することが 了承された。

(2) 評価検討会の公開について

事務局から、資料2により、評価検討会の公開について説明がなされた 後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開 とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

事務局及び評価推進課から、資料3、4、7により、評価の方法等につ

いて説明がなされ、了承された。

(4) 次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業の概要について

〇ガラス固化技術の基盤整備

事務局及び研究開発実施者から、資料5-1、6-1により、次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業(ガラス固化技術の基盤整備)の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・低レベル放射性廃棄物のガラス固化の目的等について質問があり、 まず固体にして安定化することが重要であること、加えて減容化も 図っている等の回答があった。
- ・高レベル放射性廃液のガラス固化の開発目標等について質問があり、 廃液の充填率向上を目標としつつ、ガラス固化体の発熱量、耐水性 等を考慮して開発している等の回答があった。

○低レベル放射性廃棄物の除染方法の検討

事務局及び研究開発実施者から、資料5-2、6-2により、次世代再処理ガラス固化技術基盤研究事業(低レベル放射性廃棄物の除染方法の検討)の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・除染技術について質問があり、物理的除染方法及び化学的除染方法 の検討状況等の回答があった。
- ・計測技術について質問があり、シミュレーション及び試験の検討状 況等の回答があった。

(5) 今後の評価の進め方について(コメント依頼)

事務局から、資料8-1、8-2により、今後の評価の進め方について (コメント依頼) について説明がなされ、了承された。

(6) 今後の予定について

発表内容に関する質問がある場合は質問票を提出する旨の確認と、質問票提出の締め切りを平成28年11月7日(月)とすることを確認した。評価コメント票の提出期限を平成28年11月11日(金)とすることを確認した。また、第2回評価検討会を平成28年11月25日(金)15時から開催することとした。